

雨水（あまみず）の積極的上水利用に向けた水質浄化手引きの策定と水質管理アプリの開発

ビルおよび宅地などの屋根に降った雨を小型タンク（都会の小さなダム）に貯留し、浄水処理により健康リスクを低減した上で、上水として積極的に生活内で利用してもらうために必要となる技術および社会システムについて研究します。

- 課題 1. 貯留された雨水について上水利用時のリスク把握します
- 課題 2. 小型分散型浄水処理により、貯留雨水を上水に水質変換するための技術を確認し、手引きとしてまとめます。
- 課題 3. リスク項目を簡易かつ高精度にスマートフォン等で評価できる水質測定アプリを開発します
- 課題 4. 市民との交流を通じて、雨水の上水利用における社会的許容を決定する因子を探索します。

本研究を推進することで、これまで庭散水や洗車、トイレ洗浄水等に限定されていた雨水の利用用途を上水にまで展開することが可能になり、都市部における内水氾濫の抑制効果の向上、災害時における代替水源の確保、過疎部における自立分散型水道インフラの実現等、雨水を中心とした新たな水循環の構築が期待できます。さらには、従来の輸送に依存した水供給システムからの脱却を図ることで、脱炭素社会の形成にも寄与します。

